

正確な情報と真摯な対話は、
強い支持に繋がる！



多摩市議会議員選挙 立候補予定者との対話集会

— 社会教育施設の尊重を市政に望む —

日時： 2019年3月31日（日）
14時～16時40分（13時30分開場）
会場：多摩市立関戸公民館 8階 大会議室
定員 96名
参加費： 300円（資料代）

プログラム

第1部 多摩市の社会教育施設利用者からの報告 — 現状と今後の重要性

豊ヶ丘、東寺方、聖ヶ丘、唐木田、図書館本館、
公民館、児童館、パルテノン多摩

第2部 立候補予定者からの説明 — アンケートへの回答をもとにして

質疑応答 立候補予定者と参加者

企画・主催：多摩市の社会教育を考える会
代表 荒井容子

会員

大橋慶一（豊ヶ丘複合館存続の会 所属）

齊藤 仁（東寺方複合館の存続を考える会 所属）

厚芝麗子（聖ヶ丘図書館の存続を考える会 所属）

中江智明（唐木田図書館の存続を考える会 所属）

青木洋子（多摩市に中央図書館をつくる会 所属）ほか多数
集会の問合せ：e-mail： yarai@hosei.ac.jp（荒井容子）

☎ 042-373-8258（安室君子）



多摩市議会議員選挙 立候補予定者との対話集会を企画しました

まず、対話をすることから、始めませんか。

市行政はこれまで数年、地域公共施設の廃止提案、陳情で撤回と、迷走を続けてきました。市議会議員にこそ、地域市民の感覚や要望を理解してほしい。そして、議会には、市民の声が、正しく反映されるように、議決してほしい。

そのために、市政の様々な課題について、立候補予定者の考えを聞き、我々市民の率直な意見をのべる機会を設けました。

コミュニティの活性化こそ、将来の多摩市の命

生き生きとしたコミュニティこそ、そこに暮らす成長期の子ども、働き盛りの若者、子育て年代、そして、人生を謳歌する高齢者、すべての年代にとって、最も重要な生活環境です。

人口減少、高齢化、税収の減少、将来の諸問題に備えて、大きさよりも、住みやすさの質の濃度を追求することを考えませんか。

社会教育施設の果たす役割を理解する

そのようなコミュニティづくりに、もっとも、重要な仕組みは、図書館、公民館、児童館など、地域の**社会教育施設**です。すべての世代の学習・文化・スポーツ活動を支えてくれる場所を増やすことです。コミュニティは人が集まることから始まります。

